



購読のお申し込みはこちら

検索

サイト内から検索  ウェブから検索

- ホーム
- 県内外
- 一関・両磐
- 胆江
- 北上
- 花巻
- 動画ニュース

2015年5月  
 日月火水木金土  
 1 2  
 3 4 5 6 7 8 9  
 10 11 12 13 14 15 16  
 17 18 19 20 21 22 23  
 24 25 26 27 28 29 30  
 31  
 << 4月

1つ後の記事

1つ前の記事

コラム

記者わーぶる

ノンストップ28時間 ハンドボール (5/6)

Ads by Google ▶ [岩手県](#) ▶ [盛岡市](#) ▶ [花巻市](#) ▶ [岩手](#)

Tweet



岩手国体500日前PRイベント  
 県内外880人が挑戦

2016年岩手国体の500日前PRイベントとして、約880人がプレー継続に挑戦している「いわて花巻28時間耐久ハンドボールゲーム」

2016年岩手国体の500日前PRイベント「いわて花巻28時間耐久ハンドボールゲーム」(花巻市ハンドボール協会主催、岩手日日新聞社など後援)は5日、同市松園町の市総合体育館で始まった。県内外の小学生から社会人まで約880人が6日昼までノンストップゲームに挑戦し、地元で開催される国体の成功に向けたムードを盛り上げる。

岩手国体でハンドボール競技は、来年10月6日から10日まで花巻市内3会場で開催される。今回のイベントは国体PRのほか、震災復興と20年東京オリンピック・パラリンピックの応援企画と銘打って組まれた。

オープニングセレモニーで、主催者を代表し市ハンドボール協会の佐藤睦朗会長が「復興のシンボルとなる国体の機運が高まることを期待している」とあいさつ。花巻クラブJrの菅原心人君(若葉小6年)が「時間いっぱいハンドボールを楽しむ」と選手宣誓した。

ゲームは、5日午前9時から6日午後1時まで28時間夜通しのタイムテーブルでスタート。選手は2チームに分かれ、小学生、車いす、高校生、大学生・一般、中学生・実行委の部門別に設けられた時間枠に出場し、プレーをつないでいった。

最初に行われた小学生部門では、花巻、北上、盛岡、矢巾、滝沢各市町のチームから参加した選手約120人が交代でコートを駆け回り、相手チームのディフェンスをかいくぐりながら力強いシュートを放っていた。

ヴォルベ滝沢の佐藤日向君(大新小2年)は「(イベントに参加できて)楽しいし、うれしい。ハンドボールはシュートを入れる時が好き。パスやドリブルを練習して、もっとうまい選手になりたい」と目を輝かせた。

花巻クラブJrで女子主将の菅原桜空さん(若葉小6年)は「28時間ずっと出るのは無理だけど、交代しながらなら続けられると思う。参加できて良かった。もっとたくさんの人がハンドボールを知ってやってくれればいい」と期待していた。

会場ではゲームのほか、総得点を当てるクイズ、日本代表チームなどに届ける日の丸への応援メッセージの書き込み、ハンドボール史を紹介するパブリックビューイング、東日本大震災やネパール大地震に伴う募金活動などの企画も用意された。

関連記事

powered by weblio

Weblioで調べる

ハンドボール

Keywords by **weblio**